

01 はじめに

本書は運用をできるだけわかりやすく解説したものです。詳細な情報につきましては Help Manual を参照して下さい。

本書の記載した内容は、予告なしに変更する事があります。

本書の一部または全部を無断で転載及び複写することを禁止します。

2025/2/20	V10.00.00	リリースにともなう修正
2024/06/30	V9.10.00	HP 公開にともなう修正
2024/02/07	V9.10.00	住所変更にともなう修正
2022/12/26	V9.10.00	リリースにともなう修正
2022/01/11	V9.06.00	訂正
2020/12/18	V9.03.00	リリースにともなう修正
2020/06/30	V9.00.00	リリースにともなう修正
2018/09/01	V8.10.00	リリースにともなう修正
2017/07/01	V8.00.00	初版として作成
作成日	対応バージョン	修正内容

目次

01-1.	EYECAD とは	2
01-2.	製品構成	3
01-3.	Lu Data、その他設定	4
01-4.	起動	5
01-5.	Help Manual	5
01-6.	ライセンスと保守状況確認	7
01-7.	EYECAD Folder	8
01-8.	EYECAD TOP	9

01. はじめに

01-1. EYECAD とは

- 国内エンジニアリング各社の豊富な経験をベースに徹底的に現場主義・顧客志向で開発が行われた純国産の3次元プラント設計CADシステムです。(1990年4月に初版リリース)
- 広範な標準参照D.B.を標準装備しており、導入後すぐにユーザーに使っていただける、実用的で“現場で使いやすいシステム”です。
- EYECAD導入の効果
 - ① **応札見積精度向上**
プロポーザル段階での工事積算を短時間で算出
 - ② **設計品質向上**
プラントデザインレビューシステムの活用により操作性・保全性の事前確認
 - ③ **工事品質向上**
設計品質向上による現地手直し工事の削減
 - ④ **期間短縮**
設計業務の効率化による設計期間の短縮、プレハブ化率の向上による工事期間の大幅短縮
 - ⑤ **コストダウン**
設計時間が短縮でき、設計コストを削減。現場での干渉による変更や、材料の過不足がなくなり工事コストを削減。設計途中段階でもそれぞれの時点で即座に正確な集計が可能。過不足を防ぎ材料費コストを削減。施工検査仕様、テストループ図、溶接点仕様情報の出力により検査コストを削減。

01-2. 製品構成



EYESPEC プラント属性 標準参照D.B.作成管理システム

EYEPIPE 3次元プラント配管設計システム

EYEPID P&ID設計システム

EYESUPT 配管サポート設計システム

EYELIST-1,2 材料、工事量明細、集計編集出力システム

EYEPRD 配管圧力損失計算システム

EYEPFA 配管応力解析システムへの配管、サポートデータのコンバートシステム (AutoPIPE バッチ入力File)

EYESTEEL 鋼構造計算システムへの構造データのコンバートシステム (STAN/3D 入力File)

EYEPIECE ピース図出力 (A4サイズでプレハブ単位の配管ピース図出力)

EYEVIEW-LT プラント設計レビューコミュニケーションシステム

EYEexport3D 3Dモデルデータ変換システム

(VRML1.0/2.0,STL,OpenInventor,DXF,DWG,DGN,Smart Plant Review,Autodesk NavisWorks)

EYEpoints 点群データ処理ソフトウェア

点群処理ソフトウェアから出力した配管部品や構造部材などの位置を決めたインターフェースFile (I/F File)を取込み、EYECADモデルデータを作成することができます。

01-3. Lu Data、その他設定

チュートリアルで使用する各種データ Folder には以下のものがあります。

資料 Folder	図面サンプル
config Folder	トレーニング用カラー (prog_settings_チュートリアルカラー.xml)
module Folder	3D モデル入力 (Mrout) でモジュール配置するデータ
j999 完成版 Folder	EYEPIPE 完成モデル
j51 j01 - コピー	サンプル Lu
j1001 EYESUPT 完成版 Folder	EYESUPT 完成モデル

セットアップドライブ:EYECADの下に以下の Folder を上書き保存して下さい。

1. config Folder
2. module Folder
3. j999 完成版 Folder
4. 資料 Folder (こちらに関してはデスクトップにコピーして下さい。)
5. j51 j01 - コピー
6. j1001 EYESUPT 完成版 Folder

なお、j999 完成版 Folder、j1001 EYESUPT 完成版 Folder、j51 j01 - コピーは本書のモデリング行う為のデータです。
こちらを流用して新しいプラントモデルを作成する事を禁止します。

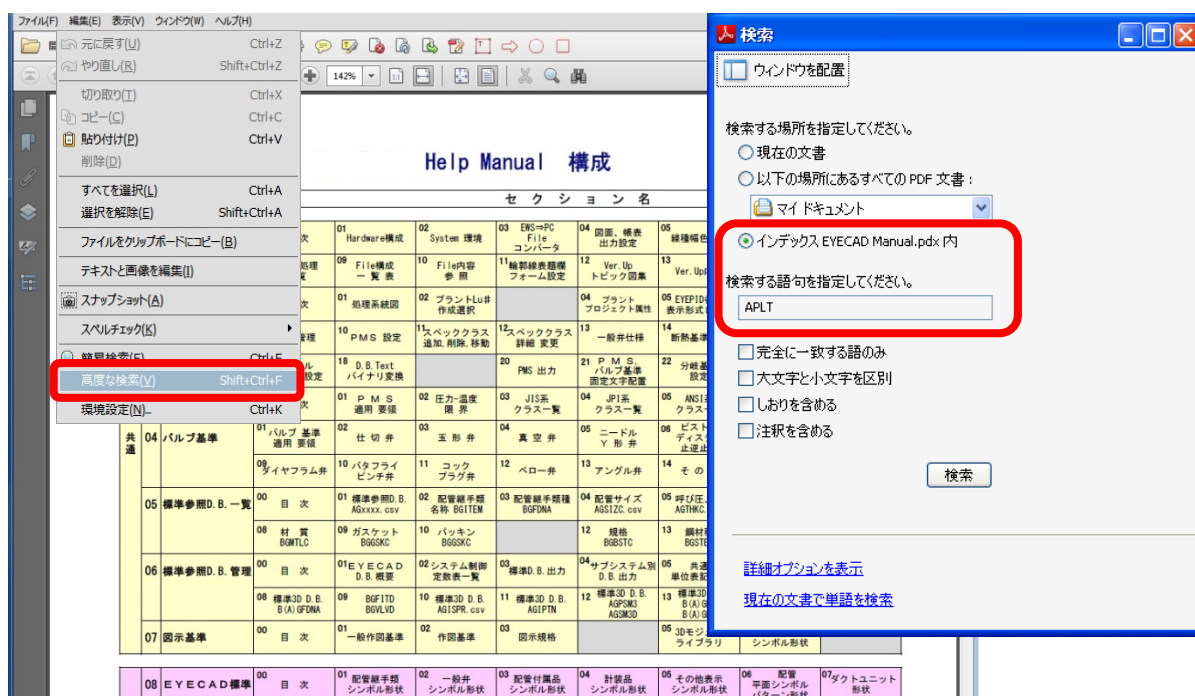
01-4. 起動

デスクトップの”EYECAD”をダブルクリックで、右図のランチャが表示されます。各メニューボタンをクリックすると対応したプログラムが起動します。メニューボタンの説明は”Help Manual 表示”(PDF)をクリックします。各ボタンの説明は 01-02-6-1 を参照して下さい。本書には (XX-XX-X-X) の記載があります。こちらは Help Manual のページ番号を意味します。



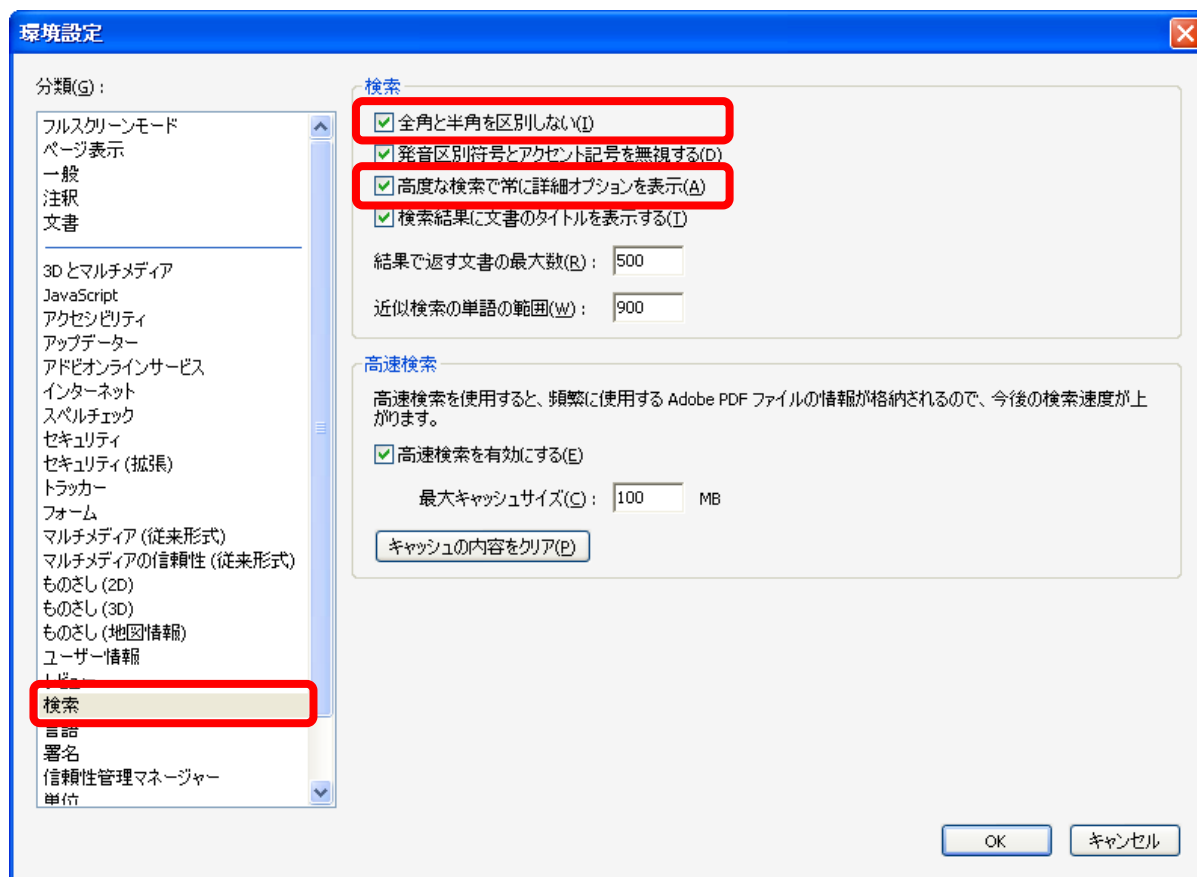
01-5. Help Manual

“Help Manual 表示”ボタンをクリックして、トップページを表示した状態で[編集(E)]メニューより高度な検索(V)を選択すると、検索ダイアログが起動します。(Shift+Ctrl+F コマンドからも検索ダイアログが起動します。)

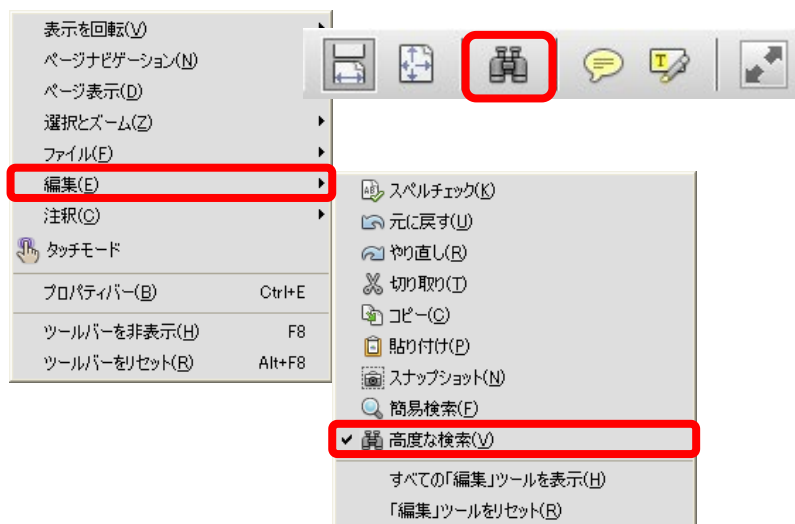


Adobe® Reader®の設定で Help Manual 全体から語句などで検索が可能です。次ページの手順で設定します。

メニューの編集(E)、環境設定(N)をクリックします。以下のように設定します。



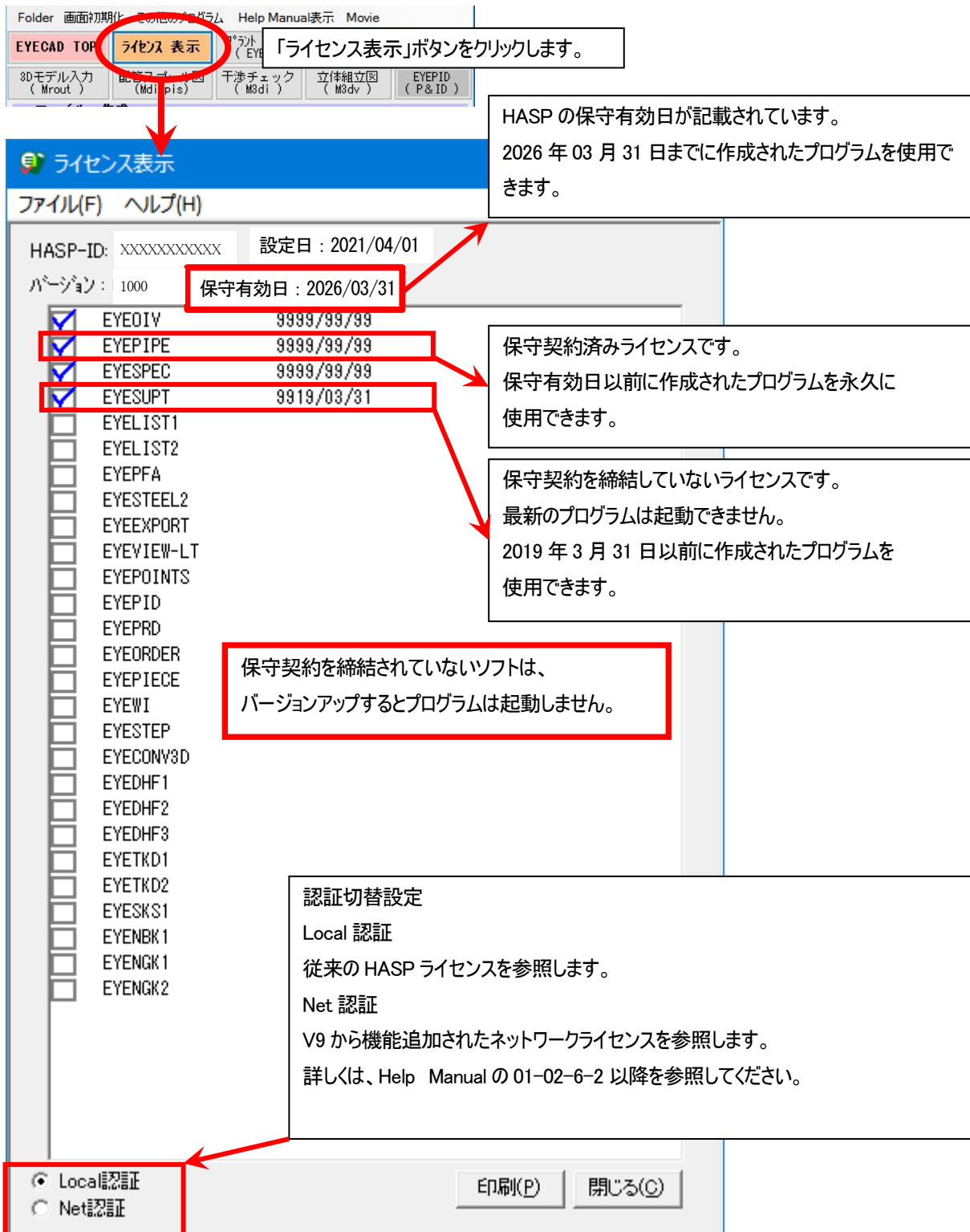
ツールバーを右クリックし、その他のツールを選択します。ツールバーに検索ボタンが追加されます



注意 上記メニュー画面は、Adobe® Reader®のバージョンによって、画面がことなる事があります。ご了承ください。

01-6. ライセンスと保守状況確認

デスクトップにある EYECAD をダブルクリックしてください。Local 認証のライセンスの説明です。Net 認証についてのライセンス表示の説明は、Help Manual の 01-02-6-2 以降を参照してください。



「ライセンス表示」ボタンをクリックします。

HASP の保守有効日が記載されています。
2026 年 03 月 31 日までに作成されたプログラムを使用できます。

Component	Expiration Date
EYEQIV	9999/99/99
EYEPIPE	9999/99/99
EYESPEC	9999/99/99
EYESUPT	9919/03/31
EYELIST1	
EYELIST2	
EYEPFA	
EYESTEEL2	
EYEXPORT	
EYVIEW-LT	
EYPOINTS	
EYEPID	
EYPRD	
EYORDER	
EYPIECE	
EYEWI	
EYESTEP	
EYCONV3D	
EYEDHF1	
EYEDHF2	
EYEDHF3	
EYETKD1	
EYETKD2	
EYESKS1	
EYENBK1	
EYENGK1	
EYENGK2	

保守契約済みライセンスです。
保守有効日以前に作成されたプログラムを永久に使用できます。

保守契約を締結していないライセンスです。
最新のプログラムは起動できません。
2019 年 3 月 31 日以前に作成されたプログラムを使用できます。

保守契約を締結されていないソフトは、
バージョンアップするとプログラムは起動しません。

認証切替設定
Local 認証
従来の HASP ライセンスを参照します。
Net 認証
V9 から機能追加されたネットワークライセンスを参照します。
詳しくは、Help Manual の 01-02-6-2 以降を参照してください。

Local認証
Net認証

印刷(P) 閉じる(C)

01-7. EYECAD Folder

ランチャのメニューから”Folder”→”EYECAD ホーム”をクリックでセットアップドライブ¥EYECAD の Folder が表示されます。(次回以降からはセットアップドライブを C として説明します。)以下のような Folder またはファイルがあります。

- bin (プログラム用 Folder)
- bg (標準参照 D.B.【General】Folder)
AGXXXX File (拡張子なし／あり File があります。)が修正可能ファイルで、BGXXXX File がバイナリ変換すると作成される File です。BGXXXX File を参照し、プログラムで表示させています。
(次回から AGXXXX File を AG、BGXXXX File を BG として説明します。)
- j01～j9999 (各 JOB【Lu】用の作業 Folder)
bg Folder から AG File をコピーし、AG (頭文字 2 文字目)→AJ とします。
これで Lu 内の File を参照となり、バイナリ変換後 BJ が作成され、標準参照 D.B.ではなく、JOB 用 D.B.をプログラムが参照するようになります。
- module (モジュールデータ用 Folder)
EYECAD のプログラムをバージョンアップした場合、既存の module Folder にあるモジュールデータも同様にバージョンアップしないと、使う事が出来ません。詳しくは Help Manual の 01-07-2-1 を参照してください。
- Config (画面表示設定 Folder)
- help (Help Manual Folder)
- Tools Folder (その他、ツールなど)

他にも Folder やファイルがあります。(詳しくは Help Manual の EYECAD Folder 構成を参照)

EYECAD のデータは EYECAD ホームの各 JOB 用の作業 Folder に配置する必要があります。

Folder の名称は以下のルールに従う必要があります。

「j」+「数字」(2～4桁)+区切り文字(半角スペース)+任意文字

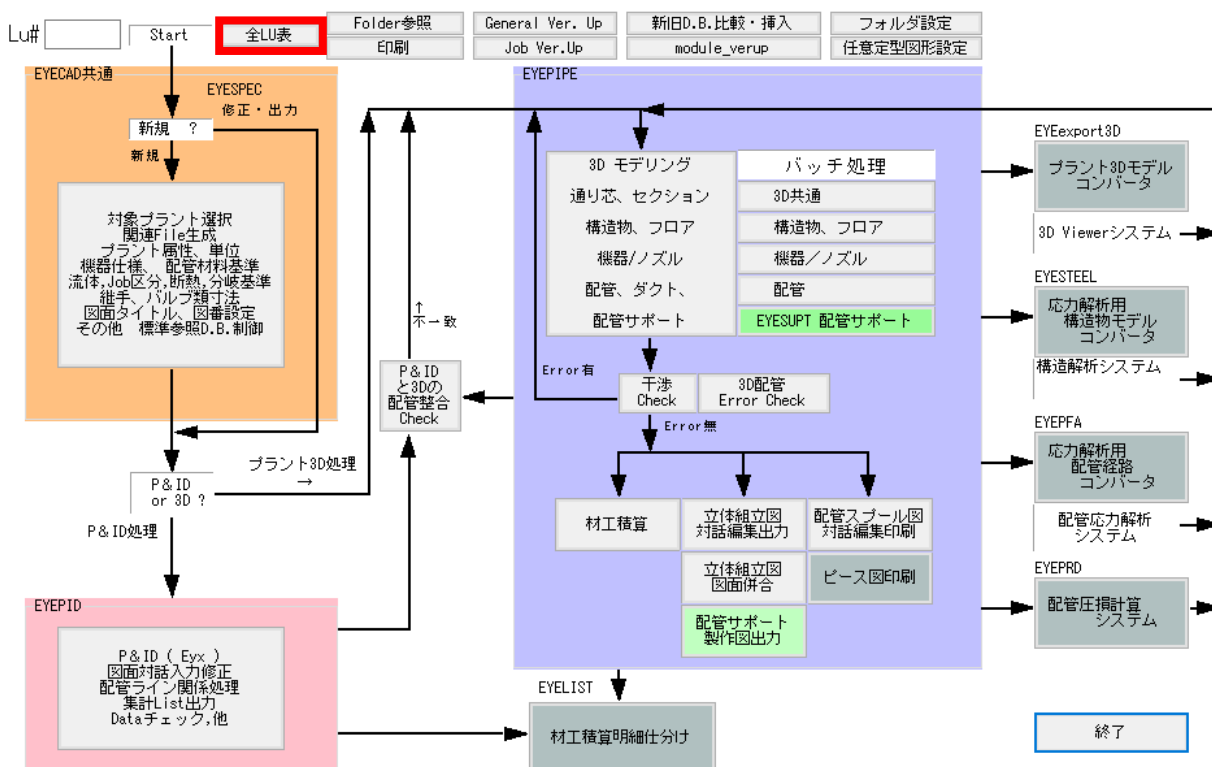
(例:j01、j100、j1000 設備改修.j2 や j3 設備改修は不可)

各プログラム起動時には「数字」を指定してデータ呼び出します。これを **JOB Folder、または Lu Folder** といいます。「j」の後の数字を **Lu#、または Lu 番号**といいます。

区切り文字は環境変数で変数名”EYE_JOB_SEP”を追加、変数値”-”を設定すると変更が出来ます。

01-8. EYECAD TOP

ランチャから”EYECAD TOP”をクリックしてください。以下のような画面が表示されます。(01-07-1-1)



目的別にプログラムを表示しており、作業手順がわかりやすくなっています。全 LU 表をクリックしてください。

登録しているプラント情報がリスト表示されます。下図は例です。

プロジェクト内容を確認しながら Lu# の選択をする画面で、一覧が表示されます。

Lu を選択すると、選択された Lu# に番号が入力されます。プレビュー ボタンを押すと、前回の 3D 画面情報が表示されます。

